



小原田小学校だより

【教育目標】心身ともに健全で正しい判断力を持ち、自主性・創造性に満ち、心豊かなたくましい児童の育成

○すすんで学習する子(知) ○思いやりのある子(徳) ○たくましい子(体)

第4号 令和3年4月15日発行

小原田小学校の最上級生として

令和3年度がスタートして2週目。緊張気味の1年生やクラス替えとなり新たな人間関係での学校生活となった学年など、それぞれの想いをのせて新年度がスタートしました。登校の様子や授業の様子などを見ていると、希望に溢れ、成長しようとする子どもたちの心が伝わってくるように思います。

どの学級でも1学期のめあてや1年間の目標を立てています。「漢字を正しく書けるようになりたい」「速く走れるようになりたい」「規則正しい生活を送りたい」等、自分の目標を決めています。その中で、「下級生や友だちにやさしくしたい」という目標をもつ子どもが多数います。「学習ができる」「運動ができる」こととともに「人にやさしくできる」ことは人と接する時の美徳です。「相手のいやがる言動はしない」ことが大切です。そして「相手の立場で物事を考える」ようになることで「やさしく接する」ことができるようになると思います。多くの子どもたちが、自分以外の人達へのやさしさの心遣いについてめあてとしていることをうれしく思います。特に、5・6年生は朝の集団登校や委員会活動、ボランティア活動等をとおして下級生の為に活躍する場面が多くなると思います。きっと、「自分もああいうすてきな上級生になりたいな」と思う下級生がたくさんでてくることと思います。6年生のみなさんの最上級生としての心身の成長と活躍を期待しています。

めざす児童像～たくましい子



学校では、「たくましい子」を目指して、次の事柄に取り組んでいきます。

まず、1つ目は体育科授業の充実をとおした体力・運動能力の向上です。45分間の授業で一定の運動量を確保することでバランスよく能力向上を図りたいと思います。一つの指標として「新体力テスト」の結果があげられます。握力や50m走など、自分の体力と運動能力を知る手がかりとなります。前年度、落ちていた項目を向上させることが大切になります。（「全身持久力」「走能力」「敏捷性」の向上を重点に指導していきます。）

2つ目は、食育・健康教育への取り組みです。体力・運動能力の基盤は、よりよい身体づくりにあります。そのために、バランスのよい食事や規則正しい生活リズムの確立等が大事です。給食や保健体育等学校での指導とともに、家庭での保護者の皆様の子どもたちへの声かけが大切になってきます。学校と家庭が連携することでより効果がみられることと思います。

3つ目は、安全教育の充実です。子どもたちには、避難訓練や安全教室などで「自分の命は自分で守る」意識を高めていきたいと思えます。朝の交通指導では、保護者の皆様と地域の皆様にご協力いただいて、子どもたちの「交通安全」の意識が高まっています。今後ともご協力をよろしくお願ひいたします。

